

公表

## 事業所における自己評価総括表 児発

○事業所名	放課後等デイサービスLiebeしるやま		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が出来たことを可視化することで自己肯定感向上や達成感を体験できるような場を提供している。	学習・活動・ルール順守等、事業所で出来たことに対しシールを渡し、貯めていくことでお子様の「出来た」を可視化している。お子様のモチベーション向上や継続する力に繋がるように意識している。	シールを渡すことが作業化しないように渡す渡さないの線引きを明確にしておき、お子様にも伝えていく。お子様の特性に合わせて考えていくことで、どのお子様も無理なく可視化の作業が行え、ルール理解等できるようにしていく。
2	活動プログラムが固定化されないよう、毎日異なりお子様に楽しく参加してもらえるような活動内容を提供している。	運動・工作・実験・音楽療法・SST・LST・食育・外出活動・季節の行事等の様々な分野の集団活動(大・小)を取り入れ、楽しみながら他者と関わる空間作りや様々な経験ができることを意識している。	集団活動の中でも様々な関わり方を提供したり、集団ごとに難易度調整を行ったりすることで、お子さま一人一人の発達段階や特性に応じて参加していただけるよう環境を整え支援を行っていく。お子様や保護者様からのご要望も取り入れながら、全職員間で活動プログラムを立案し様々な方面から計画・実行できるようにしていく。
3	日頃の連絡帳や何カ月かごとに写真を保護者様に共有することで、事業所での過ごし方や活動内容をより知っていただけるように努めている。	文章だけでなく、写真でも情報を共有することでよりお子様の過ごし方や様子等を共有できるよう意識している。お子様が作った作品等もお渡しすることで、お子様がお母さんにも見せたい！という気持ちを尊重したり、自宅での会話等に役立てるようにしている。	お子様の写真数に偏りが無いよう、全職員が全お子様と関わりを持ちいるような角度から情報をお伝えできるようにしていく。連絡帳での写真添付を増やしていきリアルタイムでお伝えできるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等が定期的に行えず、保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者様の共働きの状態やお仕事の時間等の関係もあり、開催曜日や時間帯の調整や参加していただきやすい方法などに悩んでしまい実行に移せていない。また、職員配置や安全管理体制が万全な体制で準備出来ておらず保護者様の交流の機会を作るまでに至れていない。	保護者様のお仕事状況やどのような会なら参加したいかなどのアンケート調査や聞き取りを実施し、保護者様のニーズを把握する。結果をもとに早めに計画をたて、事業所も保護者様も安心して体制で臨めるよう体制を整えていく。
2	放課後等児童クラブや児童館等、その他地域で他のこどもと活動する機会を設けられていない。	学校日は活動や学習の時間等、普段の支援で手一杯になっており交流の機会を設けられていない。また、職員間でも交流が図れておらず連絡を取れる環境づくりができていない。	まずは学休日等で近隣の公共施設への訪問等で少しずつ交流する機会を作りコミュニティを増やしていく。また、地域開催のイベント等に積極的に参加していく。
3	ご家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	保護者様へのヒアリングが行えておらず、参加できる状態等を把握できていない。また、職員配置や安全管理体制が万全な体制で準備出来ておらず安心して参加していただける場を提供できていない。	日頃の送迎時等で困りごと等の情報収集を行い、どのような慣習会や情報提供の場があると力になれるかを検討していく。安心して参加していただける場づくりを整え、実行に移していく。